

たまがわ びと

多摩川流域の水と緑に深く関わっている方から、お話を伺うコーナーです。

第9回

元木 茂さん (川崎河川漁業組合元宿河原支部長)

多摩川の恵みで育てられた投網名人 幾多の水の暴挙氾濫も受けました



国交省京浜河川事務所の調査発表では、今年の鮎は560万匹(昨年320万匹)というが、昨年宿河原堰下300m間で投網して300匹取れたのが、今年は100匹、6月の大雨の川ざらいで玉石に藻があまりつかなかったのかな。ひい爺さんに15~16歳のころ投網の打ち方を教えてもらった。



22~23歳ごろには、小田急線鉄橋下から今のせせらぎ館上までに、うなぎ屋、田中屋、紀伊国屋、柏屋など川魚料理屋がありました。屋形船で芸者をあげて宴が

繰り広げられ、アルバイト仕事として大変でしたが楽しかった時代です。マルタ、ハヤ、ナマズ、鯉、ウナギの漁、多摩川の恵みも沢山受けて育ちましたが、水の暴挙氾濫ももろ



に受けました。昔はそれに耐え得る対策や訓練、どこの家も小舟を持ち家の周りの構造にも工夫がありました。宿河原1丁目、二ヶ領せせらぎ館入口に在住。この多摩川の地を80年間も見続けています。

◀1974年(昭和49年)9月宿河原堰自衛隊ダム爆破成功せず 狛江市側決壊家屋19軒流失

繋がる、広がる

多摩川の輪

Vol.9

高津区二子新地のアート&コミュニティスペース にこぷら新地 7月にOPEN!

東急田園都市線二子新地高架下に地域のコミュニティ施設がオープン。運営はNPO法人DTO8(理事長 川崎 泰之さん・スタッフ8名)です。

2006年から地元と東急電鉄で協議の成果。沿線のつながりを大切にしたまちづくりの拠点です。地元の方々の自己表現やものづくりを通して、おしゃれなまちの創造へつなげられるような、活動を目指します。身近な多摩川との関わり方の拠点としても、河口干潟、とどろき水辺、せせらぎ館なども連携をしていきたい。対岸の二子玉川地区との多摩川を挟んだ楽しい綱引きイベントは夢。

9月6日にはオープン記念ミニシンポジウム「鉄道沿線まちづくりの今後」がありました。



◀川崎さん

編集後記

猛暑や西日本の集中豪雨土砂災害、と厳しい夏でした。ご機嫌いかがでしょうか。せせらぎ館スタッフにもハードな夏でした。多摩川夏万博、丹波山夏祭り、エコ★カップいかだ下り、夕涼みコンサート、生田緑地サマーミュージアム等、幸い天候に恵まれ、やりがいのあった充実した夏でした。また環境学習に多くの子どもたちがせせらぎ館に訪れてくれました。いよいよ秋、11月22日の収穫祭とコンサートのせせらぎ館広場づくり、野鳥写真展(11月)・野鳥サロン(11月16日)の準備が始まります。



二ヶ領せせらぎ館

- アクセス
JR南武線・小田急 登戸駅 徒歩10分
JR南武線 宿河原駅 徒歩15分
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮願います。
- 開園時間
午前10:00~午後4:00
6月~9月の土・日・祝日
午前10:00~午後5:00
- 休館日
毎週月曜日
(月曜が祝日の場合はその翌日)